

DEC. 25  
1994

宮城県壮年テニス連盟

会報 第18号

※※※ 10周年を迎えるに当たって ※※※

委員長 山本 忠

職業、年代、テニス歴などさまざまに異なる皆様方にお集まりいただき、テニスを通じて交流を深めて戴ける様な場を提供することに、委員一同努力しておりますが、如何がでしょうか。

さて、早いもので、当連盟が発足してから来年が丁度10周年となります。この間にねんりんピック、東北シルバー交流大会、宮城県テニスマスターズ等、我々が主役となる大会も、皆様のご熱意と歴代委員、幹事の努力によって新設され、多くの活躍の場が出来ました。

この10年目を更に飛躍の年にすべく、記念行事等を行いたいと思います。つきましては、約400名全会員の方々に、企画ならびに行事にご参加戴いて、壮年パワーの健在を示したいと思います。どうかご協力の程よろしくお願い致します。



★ 平成6年度後期委員総会報告 ★

副委員長 本間 満雄

平成6年度後期委員総会が12月3日（土）17時より勾当台会館会議室で開催されましたのでご報告いたします。

◆出席者：山本忠委員長

（代表委員）石亀希男 中村克宏 田中稔 岡崎幸子

菅野志津子 酒井倭子 渋谷陽子

（委任状）鈴木議一郎 平井正光

（運営委員）川口温弘 千葉鴻二 和田武士

本間満雄 渋谷妙子 玉置雪枝

坂爪ミヤ 木野英子 高橋重郎（委任状）

（幹事） 大賀延行 高橋龍夫 伊藤一利（委任状）

◆委員長挨拶：議事に先立ち、山本委員長より壮

年テニス連盟も来年は設立10年目に入る事となり会員も400名近い盛況となっている。運営委員も会場確保等で苦労しているが、練習会に会員が沢山参加してくれればその苦労も喜びとなる。県庭球協会もマスターズテニス大会を行うなど、高齢者のテニスにも力を入れだしている。来年度は壮年テニス連盟設立10周年記念行事を行う事を考えている。と挨拶があった。

◆議題

①報告事項

i 会員移動：玉置庶務担当運営委員より資料（平成6年度入退会者名簿）に基づき、12月

3日現在の会員総数380名（男子205名 女子175名、家族80組）と報告された。なお、山本委員長より、前運営委員で連盟に功績のあった福山昌利さんが11/9逝去された事が報告され、哀悼の意が表された。

ii 平成6年度諸競技会：川口競技担当運営委員より資料（平成6年度競技会記録）に基づき競技会実施の状況及び結果について報告された。なお、從来12月の懇親会の時に渡していた3大会優勝者へのレプリカは来年の各大会のカップ返還の時渡す事とした旨報告された。

（次のページへ続く）

[ [ [ [ 目次 ] ] ] ]

p

*10周年を迎えるに当たって	委員長 山本 忠	1
*平成6年度後期委員総会報告	副委員長 本間満雄	1
*リーグの島奮戦記	仙台市監督 伊藤一利	3
*対女子連定期戦に参加して	千葉鴻二	3
*福山さんありがとう	本野日出子	4
*10/23の月例会	渋谷妙子	4
*全日本ペテンテニス選手権大会に参加して	酒井倭子	5
	渋谷陽子	
*平成6年度諸大会記録		6
*新入退会者名簿		7
*平成6年度事業報告		8
*菊田さん ありがとう	奥井紀美子	8
*平成6年度事業報告		8
*平成7年度室内ダブルスを楽しむ会のご案内		8

iii 平成6年度収支状況：坂爪会計担当運営委員より資料（H6年度収支概算報告 H6.11末現在）に基づき説明が行われ、12月末迄に事務、通信連絡、会議、会報発行等の費用が追加支出されるがほど予算通りであることが報告された。

iv 東北シルバーダイナミック：本間副委員長より、本年度も両大会の出場選手選考を兼ねた大会（宮城県シルバーテニス大会 6月実施）がオープンで行われたが、壮年テニス連盟会員以外からの参加が少なくて、東北シルバー、ねんりんピック選手とも連盟会員であった。

東北シルバーダイナミックは9月6～7日に山形県天童市の山形県総合運動公園テニスコートで行われた。宮城県からは28名（内他県応援選手8名）参加、1日目は天気だったが2日目降雨のため途中で中止、一部順位決定戦の終わらなかった所はジャンケンで順位を決めたりしたが、集計の結果今年も宮城県が1位になり、カップを持ち帰った。

ねんりんピックは10月21～23日に香川県で開催され、テニスは小豆島で行われた。宮城県は派遣選手選考の方針が変わった為人�数が揃わず、参加しなかった。仙台市は監督を含め8名が参加、予選リーグで2位となつた後、2位グループの決勝トーナメントで3位となり銅メダルを獲得したと報告された。ねんりんピックに関し、「来年の宮城県選手の派遣はどうなるだろうか」との質問あり、事務局より「毎年県からの依頼で宮城県テニス協会が宮城県シルバーテニス大会などの成績をもとにして選手推薦をしているが、今年は県の担当部署に移動があり、従来の方針と違い仙台市在住者は宮城県選手になれない」とされた。その為選手の数が揃わず、県選手団は解散となった。来年も市外の選手だけでは人數が足りないと想われる所以市内在住者を加えて県選手団を結団出来るよう県の理解を得るようにしたい」と説明があった。

v その他：委員長より「壮年テニス連盟の会員も大会参加等で車に相乗りして会場への往復をすることが多くなって来ているが、今の車社会ではいつ事故に合うか分からない。車を運転する人も同乗する人も、お互いの了解と

責任のもとで車に乗って下さい。同乗する人は事故に合うかも知れない事を充分覚悟し、運転者は事故を起さぬよう充分注意して、必要ならば保険等を掛け万全を期するようにして下さい。」との話があった。

## ②審議事項

i 平成7年度役員選出：規約により今期で退任する本間萬雄、高橋重郎、渋谷妙子、本野日出子、及び秋田転勤の為辞任される和田武士の5運営委員の後任につき、委員総会に計つたが、代表委員の方からは特に推薦者なく、運営委員会から、日野佑子、高橋明子、菅野志津子、和田美代子、中村克宏の5氏を推薦し、承認された。

ii 平成7年度各種行事計画：大賀競技担当幹事より資料（平成7年度壮年テニス連盟年間行事計画案）に基づき説明、承認された。  
なお、今年は会場が確保しにくくなり土曜日に行う大会もある。又、WEEKDAY交歓会はいろいろな曜日に行い、より多くの会員が参加し易いようにしてみたと説明された。

iii 壮年テニス連盟設立10周年記念行事計画：委員長より来年は10周年記念の行事を予定しているので会員の皆様で良い案があれば出してほしい。具体的には記念行事実行委員会を作つて来年3月頃に案をまとめたい。実行委員会には役員以外の会員の方も加わって頂きたいと考えているが、その人選については運営委員会に一任して欲しいと提案、承認された。

## 健康メモ ★ ケガを無くして楽しいテニスを ★

せっかくの楽しいはずのテニスが楽しくなくなってしまう最大の原因がケガにあると言つても過言ではないでしょう。テニスエルボー、足関節捻挫、アキレス腱断裂等はテニスプレーヤーにとってよく見聞きするケガの代表的なものです。ケガをしてしまって「たまたま自分は運が悪かったのだ」と諦める前に自分で予防出来るケガは予防をしましょう。特に寒い冬期間のテニスはより入念なウォーミングアップが必要です。「寒いから早くゲームを始めましょう！」などはとんでもない暴言です。「ちょっと待て！ウォームアップにケガは無し」高齢者の冬期標語です。

スポーツ白書によると、老化期の運動に関連し ■

（61ページへ続く）

# ★ オリーブの島奮戦記 ★

(ねんりんピック香川大会報告)

仙台市監督 伊藤 一利

今年の「ねんりんピック」は「健康発 長寿行 オリーブ色に乗り」というテーマで、瀬戸内海に沈む夕日の美しさと、映画「二十四の瞳」で知られている小豆島のオリビアンテニスコートで開催されました。

まことに情けないお役所的な判断で、全都道府県唯一の不参加県となってしまった宮城県選手の姿が見えず、大変淋しい思いで参加した仙台市チームでありましたが、選手一同はそのうっふんを晴らすかの様な健闘振りがありました。

まず、例年同様に全チームを15ブロックに分けた予選リーグ戦では、秋田、長崎、千葉の3県と対戦しましたが、その結果、仙台市と長崎、千葉の3チームが2勝1敗となり大会規定に基ずき、各代表6名のジャンケン勝ち抜き戦で順位を決めることになってしまいました。（各ゲームのポイント差=選手の努力、次に年齢差をとるべきでないか。ジャンケンの選手は連れてきていない等々、再考方を主張いたしましたが容れられませんでした。）ジャンケンの結果は残念なことに第2位となり、大会2日目の第2グループの順位別決勝トーナメント戦に臨むことになりました。

決勝トーナメント戦では、第1回戦の福井県戦は3:0で快勝し、続く第2回戦の鳥取県戦も見事2:1で勝利を納め、準決勝に進みました。準決勝の相手は、愛知県（結果的に第2位グループ優勝チーム）で、初戦の川上、室賀組が6:6のタイブレークに持ち込んだものの惜しくも敗れ、続く女子組も善戦空しく勝利をものにできず、第3組の試合を行わずに第2グループの第3位となり鶴亀いりオリーブの葉をあしらった立派な銅メダルが授与されました。

全試合を通じて各選手のチームワークの良さは素晴らしい、お互いをカバーしあっての健闘振りに、付き添いの私などは一喜一憂しながら、大変心地好い思いをさせていただきました。特に女子選手の活躍は殊の外目覚ましく、予選、決勝を通じて4勝2敗という特記すべき好成績がありました。

何れにせよ今年の選手団は大変元気な方々でした。大会での頑張りもさることながら、帰仙の前に参拝した「こんぴらさん」の785段の石段を、息も切らさず一気に登り切る若さですから、好成績も推してしるべしと言ったところでしょうか。

明年的ねんりんピックは島根県の松江市で、明後年は九州の宮崎県で開催されるとのことですが、総合開会

式の観衆を含め何万人という参加者の熱気に煽られたせいか、「一体仙台で開催されるのは、何時のことになるものだろうか？」他県と比べべくもない当市の設備の乏しい現状と、お役所のやる気のなさが、妙に気にかかりながら戻ってまいりました。加えて香川という所は、美しい瀬戸内海の景観、温暖な気候への魅力もさることながら、街の清潔さには驚嘆しました。例え「ねんりんピック対策」であったとしても、玉藻公園、栗林公園、金毘羅さんと何処をあるいても、素晴らしく良く整備されており、空き缶一つ落ちていない有様には、羨ましささえ感じました。

終りになりましたが、多くの会員の方々からご声援をいただきまことに有難うございました。紙上を借りあつくお礼申し上げます。

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

## 「仙台市チーム」ねんりんびつく香川大会成績表

予選リーグ戦（4ゲーム先取ノーアド SCU制）

第2ブロック

チーム	秋田県	長崎県	千葉県	仙台市	勝敗	順位
秋田県		1-2	1-2	1-2	0-3	4
長崎県	2-1		2-1	1-2	2-1	3
千葉県	2-1	1-2		2-1	2-1	1
仙台市	2-1	2-1	1-2		2-1	2

## 決勝トーナメント戦

(S.F. Fは1セットマツチ 6-6タイブレーク)

	優勝	準優勝	3位
1位グループ	熊本県	大阪府	香川県A 埼玉県
2位グループ	愛知県	高知県	仙台市 広島市
3位グループ	福島県	川崎市	島根県 京都府
4位グループ	滋賀県	岐阜県	秋田県 山口県

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

## ★ 対女子連定期戦に参加して ★

千葉 鴻二

今年ももう11月、今日は壮年テニス連盟の今年最後のイベントになる、対女子連との定期戦である。天気予報は降水率60%で、一寸雨が心配だったが、曇りではあったが降りだしていないので、予定どおり準備をして、車を泉のテニスコートに走らせる。9時頃、役員の方々も集まり、今日のゲームの準備を

行う。その間、参加選手の方々も集まり、明るい挨拶を交わしながら早やコートで練習を始め、調子を整えている。

10時開会、ネットをはさんで、壮年テニス連、女子連に分れ、さらに6つのグループに分けられる。本間副委員長の挨拶があり、伊藤壮年テニス連監督および安藤女子連代表の挨拶の後、一人一人ユーモアを交えた紹介がなされ、和気あいあいの雰囲気になる。

その後、各グループ毎にコートに分れ、ゲームが開始される。女子連は、昨年一昨年と二年連続で惜敗しているので「今年こそ、優勝カップを」という意気込みで臨んでいるようだ。気のせいか例年より若い人達を集めめたようではつらつとしている。ゲームが始まった。やはりそうだ。動きが良い。女性特有のしなやかさと精妙な技巧がひとつひとつのプレーに見られる。コンビも良い。流れるようなゲーム運び、意気の合ったプレー、相当の練習のあとが見られる。ストローク、ボレー、そしてロブ、いずれも的確である。スピードは男子ほどではないが、華麗な動きとゲームに対する闘志とねばり強さが男子を圧倒する。各グループとも熱戦が展開され随所に好プレー、そして熱のこもった応援が見られた。しかし、女子連の善戦で各組とも男子軍がゲームを落とし、中盤戦までは6組のうちの大半が女性軍が勝ち、こままで男子軍の完敗になるという声がそこそこで聞こえてくる。途中、心配していた雨が降り出し、後半戦は雨の中でのプレーとなつた。このあたりから各組とも男性軍が本領を発揮したて、盛り返し、ついに最終には27対27の同率になる。最後の最後、ジャンケンで勝敗を決することになった。これが今大会のクライマックスをつくる。各組の代表をきめるジャンケンが始まる。責任重大である。「ジャンケンポン、最初はグー、ジャンケンポン」とどと歓声があがる。ジャンケンに一喜一憂をする。女子高生のように飛び上がって喜ぶ。最高の盛り上がりである。6人目でついに勝利の女神は女性軍に味方をしたようだ。スカイブルーの優勝カップは女子連代表の山家さんの手に渡り、高々とかざされた。

今年の定期戦は女子連の勝利に終わったが、プレーをした後、テニスマンにしか解らないすがいがしさが残つた。

ボールがあり、ラケットがあり、コートがあり、そしてテニスを愛する同好の志がいることは、なにもまして楽しみであり、人生の喜びである。それが、男性であれ、女性であれ、いずれでも。

## ■ ■ ■ ■ 福山さんありがとう ■ ■ ■ ■

本野 日出子

「もっと前進！前進！」

「決して振り返ってはいけないよ」

あたかも人生の指針のようなアドバイスを試合中よくいただきました。

何度かダブルスを組んでいただいた時、福山さんは、はじめっから積極的なプレーで、勝ち進んで行きました。ベースラインからのスマッシュは、威力や角度、ほんとうにすっきりするものがありました。おかげ様で私はいつも楽しくゲームをすることができました。

11月のある土曜日、私は急に福山さんにお会いしたくなつて入院先の日赤病院へ向かいました。病室へ行く途中、奥様とお会いし、その闘病生活の一部始終を伺い、とてもお会い出来る状態でないことを知りました。

急ぎすぎた人生にただ涙涙でした。その4日後に福山さんは二度と戻ることの出来ない旅に出ました。

11月9日、58歳。

若輩ではありましたが、福山さんから引き継いだ壮年テニス連盟の運営委員会の任期も12月で終わらせさせていただきます。

「おもいきって前進！前進！」この一言で私は生きる勇気と安心をいただきました。

本当にありがとうございました。心から感謝いたします。

\* \* \* \* \*

## ★ 10/23 月例会(青葉山コート)の報告 ★

運営委員 渋谷 妙子

去る10月23日の月例会は、青葉山公園コートにて行われました。

当日は朝から良い天気に恵まれ、格好のテニス日和となりましたが、前日と前々日の降雨のため、コートの調子が悪く、6面のうち3面のみ使用可能の状態で、これがオムニコートだったらと唯一残念に思ったことでした。それはともかく、続々と会員の方々が集まり、総勢56人の盛況となり、午前10時には、ゲーム開始、6チームに分れ、チームリーダーを決め、試合に入りました。

今回ご夫婦の参加者が多く、幸い同じチームに入られた方、又不幸?にも別々のチームになって、お互いに戦われた方と、男性、女性ダブルス、混合ダブルス

とバラエティに富んだ組み合わせの試合が進められ、私も我がチームに、久々に周りの紅葉に負けない声援を送ったのでした。

熱戦は午後5時まで続き、高い木立に囲まれたこの青葉山コートはすでに夕闇に包まれていました。

優勝したのは、本間満雄氏の率いる黄色鉢巻きチームでした。優勝チームの全員にトロフィーが授与され、又、参加者全員に参加賞品が渡され、家路に着くころ秋の日は暮れて行きました。

参加者の皆様、遅くまでご協力本当にありがとうございました。そして、今回ご都合がつかなくて参加の機会を逸した方々へは、次の機会に是非ご出席下さいますようご案内申し上げます。

A horizontal sequence of 15 black triangular symbols arranged in a single row.

◆全日本ベテランテニス選手権大会に参加して◆

渋谷 陽子

酒井 倭子

全日本ベテランテニス選手権大会は10月12日から16日までの5日間、東京昭島市の昭和の森テニスコートで行われました。私達のペアは東北ベテランテニス選手権大会に6度もチャレンジしてやっと優勝して全日本へ出場することが出来たのです。 私達は10月11日の懇親会にも参加しました。どんな人たちが来るのかすごく楽しみでもありました。初めての参加なのでドキドキもしていました。会はすごく和やかでまるで同窓会のような雰囲気で、ほとんどの人がお互いに知っていて今日この大会に参加出来たことを喜びあっていました。

12日は試合がないので見学と応援に出かけました。昭和の森のコートは24面もありとても広く、すべてハードコートでした。大会は全部ソロチェアアンパイヤーがつき運営もスムーズに行われ、厳粛な上に和やかな感じさえみられました。東京の女子連の人たちが大会運営のお手伝のほとんどをしているのを見てとても感激しました。とてもすばらしいとも思いました。私達は東北代表の方や近県から出場している人達の試合を見たり応援したりしてすべてのコートを見て歩き回りまるで何度も試合に参加しているような気になりました。そして昨年白馬大会で戦った方や福岡の大会で戦った人達と会って、初参加ではあっても何人か知人のいることによってすっかりその場の雰囲気に溶け込み、あがりもせずいつもの調子になりました。

翌13日はいよいよ試合です。午後の試合でしたが練習するために朝早く出かけました。運良くセンター

コートが空いていたのでこんな機会はないと思ったので練習をしました。コートは素晴らしい自分の打ったボールの音が反響して何か調子が良くていい気分でした。午後、友達が福島から応援に来てくれました。一緒に昼食をすませ自分達の直前の試合を見ているとき高橋龍夫先生より「身体が冷えているので少しでもボールを打っていたほうがいいよ」とアドバイスをいただき、練習をして心を落ち着けました。そのおかげで少し体が暖まり、動きも良く5分のウォームアップは順調でした。相手は関東オープンの優勝組で第一シードです。結果はわかっているがどれだけのゲームがとれるか、どれだけ食い付いていけるか、ということが課題でした。私達は此處まで来て無様な試合はしたくない、負けてもいいから精一杯頑張ろうとおもっていました。いざ試合が始まつてから、どうしたのかと思うほどボールが弾むのです。ボールを止めればエンドラインをでる、ロブを上げればコートの外へ。確かにセンターコートで練習した時はそんなに弾んでなかったと思いつつ、それでも相手を攻めていき、何度もジュースにもってゆくのだけれども、最後の一本で決められてしまいます。ファーストセットは6-1で取られました。作戦をたててセカンドセットに臨みました。飛ばないラケットに変えて慎重に相手の弱い所をつき3ゲーム取るのがやっとでした。さすが関東です。それでも彼女たちが私達に「苦戦したわ。上手ね。」と言ってくれたのがせめてもの慰めになりました。一回戦で負けましたが確かな手応えがありました。また来年も是非参加したいという思いで帰つてきました。今はあのハードコートでの反省をしながら来年の全日本を目指し、今年参加した友達とまた会えるように頑張っている二人です。最後にこの大会参加のために応援、協力して下さった皆さんにお礼申し上げます。ありがとうございました。

11月9日福山昌利さん、12月11日菊田絢子さんとあい続いて私達はテニス仲間を失いました。福山さんは当連盟の運営委員会の一員として、各種大会や行事に会員の面倒を見てくださり、ご自分も長身を活かしたパワーフルなテニスを我々に披露し、闊達な笑い声でコートを賑やかにして下さいました。菊田さんは、まさしく連盟の女性会員のお手本的存在でありました。連盟行事の皆勤賞があれば授賞者の第一号にあたいする方でもありました。ねんりんピックや東北シルバーテニス大会の代表選手として県内だけにとどまらずその活躍の場は全国的でありました。

つづいてお二方のご冥福をおいのり申し上げます

運営委員会



# 平成6年度大会記録



平成6年度に開催されました各種テニス大会の記録です。宮城県壮年テニス連盟主催の大会記録は三大大会の優勝者です。公式戦については、優勝者および準優勝者、その他の試合については優勝者です。毎年の試合結果は後半の会報に掲載し、当連盟諸氏の活躍の様子を記録してゆきたいと計画しております。公式戦、非公式戦を問わず、対外試合の結果を事務局までお知らせ下さい。

大会名称	主催	期日	会場	種目	成績	氏	名
年齢別ダブルス大会	宮城県壮年テニス連盟	女子40歳 女子45歳 女子50歳 女子60歳 男子45歳 男子50歳 男子55歳 男子60歳 男子65歳 男子70歳	7/19 泉総合運動公園	優勝 優勝 優勝 優勝 優勝 優勝 優勝 優勝 優勝 優勝	枝子澄昌有南今井相高小武中三大八内北高井高野武田中浦大重八内北高井高井高井	田持相庄柴小川山根久室矢三高斎玉棚藤伸美智郎都昭宏ト王天雪枝宏裕雄宏宏雄雄雄雄雄雄雄雄雄	美代子阿勝子和水一寿創子
技量別ダブルス大会	宮城県壮年テニス連盟	A-クラス B-クラス C-クラス D-クラス	8/7 泉総合運動公園	優勝 優勝 優勝 優勝	村克彦昇衡重櫻内規敏昭宏	野伸美智郎都昭宏	伸美智郎子
混合ダブルス大会	宮城県壮年テニス連盟	A-クラス B-クラス C-クラス	10/16 泉総合運動公園	優勝 優勝 優勝	野島昭宏	橋置雪枝宏	高斎美恵子
宮城県春期テニストーナメント	宮城県テニス協会	男子55歳S 男子55歳D 男子45歳D	4/9～30 宮城野原	優勝 優勝 優勝	龍夫天井高井高井川口	有賀吟生近晴雄温弘	有賀吟生
県民大会	宮城県テニス協会	男子45歳	8/13, 14 宮城野原	優勝	伊三郎	伊三郎	伊三郎
宮城県春期テニスマスターズ	宮城県テニス協会	男子60歳 男子65歳 男子70歳 女子55歳 女子60歳 女子50歳D 男子55歳D 男子70歳D	6/4 宮城野原	優勝 優勝 優勝 優勝 優勝 優勝 優勝 優勝	田辺造光雄英子間和晴倭子酒井龍夫久保寿一高橋龍夫井沢秀雄有賀吟生安田勇	神松伊三郎木上仁子久義子陽子	神松伊三郎
東北バテランテニス選手権大会	東北テニス協会	男子55歳 男子55歳D 男子70歳D	7/26～30 岩木山公園テニスコート	優勝 優勝 優勝	高橋龍夫(川緑衛)	室賀創	室賀創
宮城県選手権大会	宮城県テニス協会	男子45歳 男子55歳 男子55歳 男子55歳	9/3～宮城野原	優勝 優勝 優勝 優勝	井沢秀雄有賀吟生安田勇	高橋龍夫(川緑衛)	高橋龍夫(川緑衛)
仙台市民大会	仙台市テニス協会	壮年S 壮年D	泉総合運動場	準優勝	水(中野和夫)	水(中野和夫)	水(中野和夫)
家婦連春期大会		A-クラス Q-クラス		優勝	(三上由子)	(三上由子)	(三上由子)
宮城県秋期テニスマスターズ	宮城県テニス協会	男子60歳 男子65歳 男子50歳 女子55歳 女子60歳 男子60歳 男子70歳 男子55歳	11/5 宮城野原	優勝 優勝 優勝 優勝 優勝 優勝 優勝 優勝	伊藤やす子(天賀やす子)高橋千枝子(梅崎千枝子)酒井倭晴子(桜井ハリ)伊藤一利(神松伊三郎)久保寿一(室賀創)高橋龍夫(石黒修)高橋龍夫(石黒修)	伊藤やす子(天賀やす子)高橋千枝子(梅崎千枝子)酒井倭晴子(桜井ハリ)伊藤一利(神松伊三郎)久保寿一(室賀創)高橋龍夫(石黒修)高橋龍夫(石黒修)	伊藤やす子(天賀やす子)高橋千枝子(梅崎千枝子)酒井倭晴子(桜井ハリ)伊藤一利(神松伊三郎)久保寿一(室賀創)高橋龍夫(石黒修)高橋龍夫(石黒修)
第7回サンビア沖縄残波ロイヤルカップテニス大会 1994ワールドマスターズゲームズテニス大会	沖縄県 ロイヤルホテル オーストラリア ミルトンテニスセンター	9/3 9/24～	9/3 ロイヤルホテル オーストラリア ミルトンテニスセンター	優勝	神松伊三郎	神松伊三郎	神松伊三郎

\* た身体機能特性として、①反応がおそくなる。②脈搏があがりにくい。③血圧があがり易い。④臓器機能、運動器機能がすべてにわたり、質的、量的に低下する。⑤回復が遅い。⑥再生力が弱い（ケガや病気が治りにくい）。⑦潜在性の疾病異常を持つ人が多い。⑧個人差が著しい。となっております。「自分はまだ若い。ダイジョウブ」と思っておられる自信家のあなた、すぐ後ろでケガがキバをむいて待っていますよ。お互に注意をして楽しいテニスをより永くしたいものです。

老化期の身体機能特性の教えてくれるところは、ケガだけではなく、練習の在り方やゲームの仕方について

ても沢山のサセッションを与えてくれています。「テニススクールにはいって一生懸命練習をしているのになかなか上達をしない」「コーチの教えてくれることがイマイチピンとこない」「テニス技術の本を読んでもよく解らない」等々いろいろな声を耳にします。テニススクールやコーチあるいはテニス教本はその教える対象がジュニアあるいは一般成人である場合が多いのです。老化期の身体機能を考えて教えてくれるケースはほとんどないでしょう。自分なりにメニューを作り、スクールやコーチの教えを巧く消化するように心掛けることが上達のコツであるようです。

## 平成6年度入退会者名簿

平成6年度前期委員総会以降

月日	氏名
3/23	深谷 実 花田けい子
3/31	鈴木啓之 田中英八郎 笹野正二 小泉美智子
4/13	斎藤 幸枝 安藤謙四郎 長沢 仁 長沢光子
5/5	坂本章子 金子のぶ
5/6	水沢啓行 佐藤克夫 東海林佳代子
5/10	工藤和夫
5/14	大谷昌子
5/17	宇野 忍
5/23	鈴木桂子
5/29	佐々木宏昭
5/1	大山邦彦 大山真理子
6/6	山口英子
6/9	広田哲二
6/1	大村武平
6/28	山田孝子
7/1	佐藤千代子 鈴木まさ子 大友文子 佐藤きすい
7/1	南谷綾乃 小川和男
7/15	斎藤克巳
7/19	荒井 健 落合忠夫 荻原栄子 目黒祐子
7/25	八木 浩 八木美緹子
8/1	佐々木毅 佐々木さだ子
8/1	原田武雄
8/3	野島昭敏 野島かよ子
8/7	高橋善晴
8/15	松田久一 松田智子
8/31	佐々木善勝 佐々木つや子 渋谷 猛 渋谷恭子
9/21	桜井信治 栗栖 勲 栗栖幸代
10/3	荒井純哉 荒井直子
10/13	大堂圭子
10/16	佐々木文子
11/9	福山昌利
11/14	中館勝栄
12/3	桜沢富男 美恵子
12/11	菊田絢子

## ■■ 菊田さん さよなら ■■

奥井 紀美子

葬儀の日、あのちいさな箱に入ってしまわれたあなたをお迎えして胸がつきました。なつかしいあなたの姿に再びまみえる事が出来ないなんてどうしても信じられませんでした。

あなたとの御縁は九年前の中山テニススクールでの出逢いからでした。定年退職して余生の楽しみテニスをとスクールに入りましたら、同じような年配の菊田さんを拝見して「ああ、よかった お仲間がいて」と大いに意を強くしたのを思い出します。その後、六十三年第一回ねんのんピックに一緒に参加することになって以来、テニスを通じての深いお付き合いになりました。壮年テニスの大会や練習、スマッシュテニスクラブ、七北田テニスクラブでの練習等々、一週間に三日連続などという時もあり、「よく続くね。私達たいしたものんだわ」と自称自賛したり、「やはり年なりにセーブしなくてはね」と自重したりしましたね。テニスにはなかなか厳しくて「粘ること。勝負なんだから勝たなくてはダメ」と発破をかけられ、頑張り屋のあなたは、本当に一生懸命でした。それが昨年の十一月頃だつ

たでしょうか。練習試合の途中で「疲れたから替つて」「少し休ませて」と今までにないことを言われ、「アレッ?」と思ったことがありました。今にして思えば、あの頃既に病魔はあなたの身体を蝕んでいたのですね。テニスも素晴らしいといらっしゃいましたが、いろいろの大会の懇親会での貴女の多芸振りも素晴らしい、カラオケもお手のものでいい声を聞かせて下さいました。尻込みをする私達を「いいから、いいから、おいで」と引っ張り出し、一緒に歌ったり踊ったりの楽しい思い出を作つて下さいました。「長い人生いろいろあったけど、お互い元気でテニスを楽しめるのは本当に仕合せ。これからも身体に気を付けて頑張ろうね」と話合つておりましたのに、どんなにか口惜しくていらしたことでしょう。私どもみんなも口惜しくなりません。テニス仲間の目標といわれたあなたの存在は大きく、今あなたが姿を消してしまわれ、大きな穴のあいた感じです。三つ年上のお姉様だったあなたの後を追っていた私も、本当に寂しくなりました。この十年間育んだ友情と沢山の思い出を大切に、あなたの分までテニスを続けたいと願っています。

また、あの世で一緒にテニスをしましょう。それまでさようなら。

### 【平成6年度事業報告】

平成6年度に開催されました宮城県壮年テニス連盟行事の一覧です。猛暑の夏を乗り切つて、沢山の会員諸氏の参加により盛り上がりの大きい会が多くありました。

月 日	行 事	参 加 人 数	会 場
2/11	室内ダブルスを楽しむ会	36	キリンスポーツクラブ
4/13	WEEK DAY交歓会	26	宮城野原庭球場
5/25	WEEK DAY交歓会	30	青葉山公園庭球場
6/9	WEEK DAY交歓会	36	宮城野原庭球場
7/6	WEEK DAY交歓会	33	青葉山公園庭球場
7/19	年齢別ダブルス大会	96	泉総合運動場
8/7	技量別ダブルス大会	83	泉総合運動場
8/24	WEEK DAY交歓会	32	青葉山公園庭球場
9/9	WEEK DAY交歓会	48	宮城野原庭球場
9/18	月例会	29	青葉山公園庭球場
10/6	WEEK DAY交歓会	45	七北田公園庭球場
10/16	混合ダブルス大会	78	泉総合運動場
10/23	月例会(団体戦)	54	青葉山公園庭球場
11/6	対女子連定期戦		泉総合運動場
12/3	懇親会	53	勾当台会館

以上の外に9/24,25に対いわきVTCとの親善試合を遠刈田温泉で開催。春秋の2回開催された県テニス協会主催の宮城県テニスマスターズを主管。前後期の委員総会および計9回の運営委員会を開催した。

### ■■ 室内ダブルスを楽しむ会 ■■ のご案内

例年好評をいただいている冬期間の室内ダブルスを楽しむ会を今年もキリンSCのご好意により下記の要項で開催いたします。ゆっくりと納得の行くまでテニスを楽しんでいただくために参加人数を36名に限定させていただきます。申込順にして定員になり次第締め切らせていただきます。この会報がお手元に届きしだいハガキを用いて事務局宛てに申し込んで下さい。

期日 2月11日(祝日) 9:00~18:00  
会場 キリンSC広庭室内コート  
会費 2500円/人

参加出来る方には2月5日までにその旨ご連絡いたします。都合の良い時間にお出かけください。なお、ご要望があれば、3月にも1回室内ダブルスを楽しむ会の開催を予定しております。

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★  
編集発行 宮城県壮年テニス連盟運営委員会